

(社) 日本原子力学会
第83回倫理委員会議事要旨

日 時 平成 27 年 1 月 9 日 (金) 09:30~12:00
場 所 北海道大学 A4-67 会議室
出席者 大場委員長、作田幹事、内山委員、宇奈手委員、大鷹委員、辻委員、
中野委員、奈良林委員、福家委員、三村委員、宮澤委員
高橋理事 (12 名 : 委員名簿順)
北村氏 (オブザーバー)

配布資料

- 資料83-1 第83回倫理委員会議事要旨 (案)
- 資料83-2 倫理委員会規程改定案
- 資料83-3(1) 事例集 R 3
- 資料83-3(2) レビュー分担案
- 資料83-4 ポジション・ステートメント第2回会合他
- 資料83-5 倫理委員会委員への立候補のお願い
- 資料83-6 平成27年度収支予算 (案) 申請書
- 資料83-7(1) 2015年春の年会 (3/20-22) 企画セッション提案書
- 資料83-7(2) 本津波対策に見る倫理的側面の考察

議事

1. 資料 83-1 により、前回議事要旨 (案) を確認し、了承された。
2. 資料 83-2 により、倫理委員会規程の改定案について、作田幹事から説明があり、了承された。
3. 資料 83-3(1) (2) により、事例集案とそのチェック分担案について、宇奈手委員から説明があった。事例集案のチェックについては、委員および特別委員が行うこととし、別途、宇奈手委員から事例集の電子データと見直したチェック分担表を添付して依頼メールを発信することとした。コメントは事例作成者に回答することとし、締め切りは 2 月 13 日とする。なお、事例作成者はコメントを反映したものを 2 月 20 日までに宇奈手委員に回答する。チェックにあたっては、挿絵のイメージも含めて広い視点で検討することとした。
4. 資料83-4により、以下の項目について、宇奈手委員から説明があり、議論した。①ポジション・ステートメントWG第2回会合に倫理委員会を代表して出席した宮越副委員長 (本日欠席) からの報告であるが、会合にかつて出席したことのある大場委員長およびポジション・ステートメントWG立ち上げの議論に参加していた北村オブザーバーから、関係する説明があった。ポジション・ステートメントWGにオブザーバー参加を要請されているということは、内容を倫理委員会にチェックをしてほしいことだと考えるが、現実には委員会の体力およびオブザーバーとして出席する個人で判断できる範囲等から、倫理委員会としての関与を再考すべきではないかとの意見があった。また倫理は倫理委員会で扱うものと考えられてしまうおそれもあることから、一度、担当理事から次回理事会 (1/30) において上記の状況を説明することとした。②廃炉委員会分科会については、倫理委員会には提言Ⅲのフォローが求められており、今後の対応について議論した。倫理委員会としては、委員をオブザーバーとして派遣するだけでは十分にコミット

- したことにはならないので、倫理委員会は何を求められ、何ができるのかを明らかにしてから協力することとする。先ずは、倫理委員会のポジションを理事会に明確に伝える必要があるため、その案を大場委員長が作成することとした。③倫理協議会については、倫理委員会から2名の参加を求められ在京委員で対応してきた。原子力学会から東電福島事故の反省事項を他学協会に伝えることは重要との意見もあったが、諸状況を勘案し、当面協議会への参加を休止することも含めて検討することとした。④ホームページについては、この3月に大幅に見直される予定である。コンテンツの統一とメンテナンスのやり方については学会事務局で検討中とのことであった。現倫理委員会のホームページで整備が足りていない点は作田幹事がリストアップすることとした。⑤倫理規程（前文と憲章）の英文化と関連事例の掲載については、今後検討していくこととした。
5. 資料83-5により、金山氏の立候補願いについて、作田幹事から説明があり、了承された。担当理事から次回理事会（1/30）に諮っていただくこととした。また、作田幹事から退任の申し出あり、幹事、予算担当他の人選については、三役に一任することとした。
 6. 資料83-6により、平成27年度予算案について、作田幹事から説明があり、了承された。
 7. 資料83-7(1)(2)により、2015年春の年会（3/20-22）企画セッションについて、福家委員および宇奈手委員から説明があった。日程は、3月20日13:00-14:30に確定した。講師への依頼状は、大場委員長が担当することとした。宇奈手委員の原稿において、タイトルの微修正と本文中の用語統一を行うこととした。
 8. その他として、平成26年12月21日に放映されたNHKスペシャル「メルトダウン File.5知られざる大量放出」における放送倫理上の問題について、奈良林委員から紹介があった。今後、団体の連名で抗議する予定。倫理委員会としては、こういう問題に対して事実確認を踏まえ、倫理規程とも照合したうえで、タイミングよくポジション・ステートメントを出していくことが重要。1月末までに大場委員長がメールで議論することとした。
 9. 次回の倫理委員会の日程は、H27年3月4日（水）13:30～（学会事務局会議室）とした。

以上